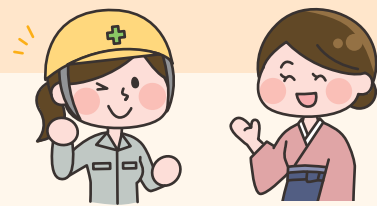


金沢市女性活躍加速化プロジェクト



女性活躍推進へ2業界が「宣言」

金沢市では「金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業」により、業界団体を対象として、それぞれの業界団体の課題に応じた女性の活躍推進、多様な人材活用等、男性・女性がともに働きやすい就業環境づくりのための連続セミナーを開催してきました。

セミナーを受講した業界団体のうち、石川県測量設計業協会、石川県旅館ホテル生活衛生同業組合の2業界が、女性活躍等における自らの業界の課題、改善策を検討し、業界一丸となって取り組むべき具体的な方策を取りまとめ、『業界取組宣言』を行いました。

この取組宣言が、それぞれの業界の「女性活躍」「働き方改革」にかかる具体的な取り組みを促進していくとともに、本市の他業界団体への機運の波及と取組拡大につながっていくことを期待しています。



一般社団法人 石川県測量設計業協会

【取組宣言文】

私たちの業界は、測量設計技術者の多様性を確保するという観点から、測量設計業における女性の進出を推進し、更なる業界の発展を目指します。

石川県旅館ホテル生活衛生同業組合

【取組宣言文】

私たちの業界は、おもてなしの心を大切に、伝統文化の継承と革新への挑戦を続けるとともに、多様性の尊重と女性活躍の推進に積極的に取り組み、さらなる発展を目指します。

かなざわ女性活躍推進会議発足

男女ともに活躍するまち、かなざわをめざして

女性が多様な働き方を実現できる環境づくりをすすめ、女性はもちろん男性もいきいきと働き、ともに活躍する活力あるかなざわの実現をめざして、産学官連携のネットワーク組織「かなざわ女性活躍推進会議」を設置し、8月2日「キックオフミーティング」、10月4日「第2回会議」を開催しました。

今後も、参加事業所等の情報交換を通じて、課題の整理やその解決に向けて取り組んでいきます。



▲ 第2回会議

◀ キックオフミーティング

女性相談支援室 月～金 9:00～17:00

夫婦問題、離婚などの不安や悩みの相談
配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
生活、その他女性の身上相談

問：金沢市女性相談支援室 TEL 076-220-2429

女性相談
専用電話

076-220-2554

秘密は堅く守られます。

特別相談
要事前予約

女性弁護士による法律相談 毎月第1火曜午後、第3金曜午後
臨床心理士による心の相談 毎月第2木曜午前
カウンセリング 毎週木曜

金沢市男女共同参画都市宣言 平成25年12月16日 金沢市議会議決

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を發揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。

平成29年12月発行



金沢市男女共同参画

ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

るうぷ

金沢市
男女共同参画広報誌
2017
VOL. 39

特集記事

平成29年度 金沢市女性活躍促進モデル企業

女性を応援する
私たちの取り組み



お問い合わせはこちらまで

金沢市人権女性政策推進課
076-220-2095

発行：金沢市人権女性政策推進課

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 TEL 076-220-2095 FAX 076-260-1178

Email: jinkenjyousei@city.kanazawa.lg.jp URL http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22075/danjyo/index.html

編集：子育て向上委員会

女性を応援する私たちの取り組み

金沢市
女性活躍促進
モデル企業
とは？

金沢市では、女性の活躍促進に積極的に取り組む企業を支援することにより、女性が働きやすい環境づくりを図っています。金沢市女性活躍促進プロジェクト事業に2年間参加し、職場環境改善等に積極的に取り組む企業4社を「平成29年度金沢市女性活躍促進モデル企業」として選定しました。



土木
建築

加賀建設 株式会社



現場も含め、女性社員増加中。 個々のスキルを活かせる業務を。



女性の意見が
取り入れられた
現場の快適トイレ。



経営企画部課長 鶴山 秀二 さん
建設業界は、女性の活躍に関して遅れを取っているのが現状です。育児中でも働きやすい職場作りのため、ワークライフバランスを徹底させ、社内だけでなく業界全体の流れを変えていくのが目標です。

土木や建設の現場には男性しかいない、というのがこれまでの業界の常識でした。現在当社には、2名の女性技術者がいます。彼女たちが作業現場に出たことで、これまで気づかなかった点や改善すべき点が見えてきました。何より労働環境の整備は急務です。女性が働きやすい環境にするため、仮設トイレの快適化は一気に進みました。女性技術者はコミュニケーション能力が高いので、現場の雰囲気も明るく変わりました。男性側の意識も変わってきていると感じます。

内勤で事務の業務に携わっている女性には、「言われたことをするだけではなく、どんどん提案してほしい」と伝えています。決められた仕事だけこなしているように見える事務職ですが、定期的に面談をして、それぞれが持つスキルを十分に活かせるよう目を配っています。「総務で入ったけれど、実は建築の経験がある」「英語が得意」など、個々が培ってきたスキルや能力は会社の財産につながります。一人ひとりのこれからの活躍に期待しています。

ビル清掃
設備管理

白山ビルサービス 株式会社



「あんやとカード」を通して 職場に感謝と笑顔と幸せを。



たくさんの
「あんやと」をまとめた
「あんやと通信」を
毎月発行中。



代表取締役社長 多賀 直昭 さん
社員が某高校で窓ガラス清掃に従事していたところ、教室にいた女子生徒が「お疲れさまです！」と黒板に書いて、お辞儀をしてくれたそうです。感謝の心に支えられていると感じた出来事でした。

社員120名のうち、約半数が女性で、そのほとんどがビル清掃を行うパートスタッフです。業務柄、午前と午後で人が完全に入れ替わるというケースもあり、職場でスタッフ同士のコミュニケーションが取りにくいというのが長年の課題点でした。そこで導入したのが「あんやとカード」です。日々の業務の中で感じた感謝の気持ちを、カードに書いて、相手に伝えるというものです。「モップがけを手伝ってくれてありがとう」「分かりやすく教えてくれてありがとう」など、

当たり前だと思って見逃していたことを文章で相手に伝えることで、スタッフ同士の風通しがとてもよくなりました。「あんやとカード」をたくさん書いてくれた社員には、月ごとに景品をプレゼントしています。他人のよいところに気づき、それを素直に伝えられることへの評価です。受け手にとっては、書いてくれた人への親しみや仕事へのやりがいにつながる「あんやとカード」、気持ちよく働ける環境づくりのために、さらに改善を重ねていきたいです。

薬局経営
介護支援

株式会社 スパータル



「てまりバリュープロジェクト」で 意識を高め、達成感につなげます。



「てまりバリュー」が
書かれた紙は
いつも持ち歩いています。



代表取締役社長 橋本 昌子 さん
従業員の9割、管理職の8割が女性です。働きぶりは真面目で、結果も出してくれています。最近は少しずつ男性社員も増えてきました。女性も男性も活躍できる職場作りを目指します。

社員が共通の目標に向かって、やりがいを持って仕事ができるようにと、3年前から「てまりバリュープロジェクト」というものを始めました。今私たちが持っている「てまりグループ」の価値を共有しよう、という試みです。まず、私たちが持っている価値（バリュー）を、「誠実さ」や「挑戦」など具体的に5つの項目に分類し、それぞれにレベルを設定することで、自分自身が今のレベルにいるのかを客観的に知ることができました。さらに、グループワークを通して、日常の

業務とバリューとを照らし合わせ、「こういうときに、こんな対応ができた」などの事例を共有しました。これを繰り返すことで、着実に社内の雰囲気が変わってきています。今後はバリュープロジェクトに評価制度を取り入れて、社員の達成感を高めていきたいと考えています。社員はみな一歩外に出れば、広報の役割を担います。一人ひとりの言葉は非常に大きな意味を持つので、価値を言葉に出せる取り組みを今後も続けて行きたいと思っています。

解体
リサイクル

株式会社 宗重商店



遊び心や面白い発想を大切に。 アイデアを出せる風土があります。



社員旅行も
誕生会も忘年会も
子連れ参加
大歓迎。



代表取締役 宗守 重泰 さん
社内では、常に遊び心や発想力を大切にしています。現在は「KY1グランプリ」と題して、誰が現場で一番カッコイイ朝礼を魅せられるか決定戦を開催中。どんな動画が届くのか、とても楽しみです。

当社の本社経営管理は、すべて女性で回しています。人事や労務、財務はもちろん、広報やブランディング、マスコットキャラクターの制作など、今まで男性が得意ではなかった分野において、大きな力を発揮しています。昨年より、女性スタッフの企画運営のもと、「はたらくクルマ体験会」を開催しています。市内の園児を招待して、ショベルカーや大型トラックなどを間近で見てもらい、一緒に操作するという体験会を始めました。今年は全4回の開催で、毎回子どもたちに大好評。ショ

ベルカーを操作する工事課の社員は、子どもたちにとってスーパースターに映るようです。社内では、業務の他に「委員会活動」というものも行っています。委員会は全部で4つあり、社員はいずれかに所属しています。社内イベントの企画、運営をする「ワクワク委員会」や、コミュニケーションの活性化の企画、運営をする「ニコニコ委員会」など、活動を通して、企画力や実行力を高めています。面白さやカッコよさを大切にしながら、まちづくりに携わっていききたいと思います。